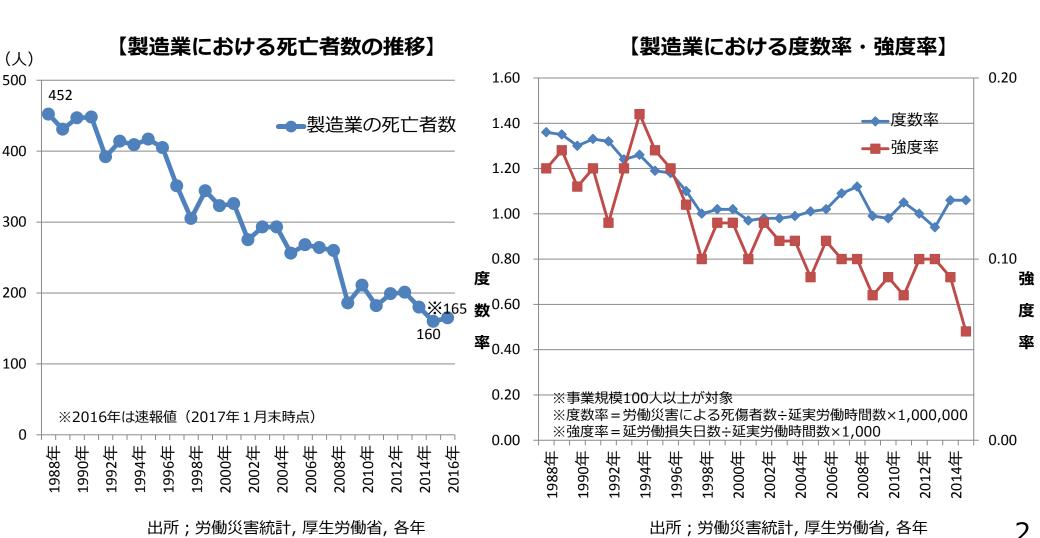


製造業における事故の推移と 官民協議会への期待

経済産業省 大臣官房審議官(製造産業局担当) 佐藤 文一

1. 製造業における事故の推移

- 製造業における死亡事故は、長期的には減少傾向。
- 他方で、近年、製造業における度数率・強度率は一進一退。



2. 金属産業を対象にしたアンケート調査の結果

● 金属関連6団体の協力の下、平成29年2月に、67社・185名の経営者、管理職、 現場職員を対象に、安全対策に関するアンケート調査を実施。

I. 経営トップのリーダーシップへの期待

- ①経営層と現場従業者の定期的、継続的なコミュニケーションが重要
 - → 90%以上
- ②経営者による、安全衛生に関する定量的な投資の表明等が重要
 - → 90%以上

Ⅱ. 現場改善への期待

- ③危険体験研修など、実践的な安全衛生教育が重要
 - → 95%以上
- ④ヒューマンエラーがあっても事故に繋がらない、又は事故拡大につなが らない設備・システム作り
 - → 98%が期待
- ⑤社外の講習会などが不可欠
 - → 約90%

金属産業を対象にしたアンケート調査の結果(続き)

Ⅲ. 自己安全管理の強化

- ⑥現場を自己評価し、現状を理解しながら、安全を維持
 - → 99%が重要性を指摘
- ⑦上司の指示に従うだけでなく、現場が自ら考えて動くことが必要
 - → 9 7 %

Ⅳ. その他

- ⑧同業他社、異業種他社の安全衛生活動を参考にしたい
 - → それぞれ、96%、86%

3. 官民協議会への期待

I. 基本的考え方

- 官と民との連携強化
- 経営層から実務担当者まで、大企業から中小 企業まで、全ての関係者の意識向上
- 業種を超えた連携・情報共有



Ⅱ. 具体的アクション

- 他社の良い取組を学び、自社の取組に活かす。
- 情報収集に留まらず、実効性のある活動に結びつけ、成果を広く共有。
- 製造現場への普及促進を図るため、地域での活動を展開。
- 成果を分かりやすく情報発信。
- 「全国産業安全衛生大会」との連携。

